

主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会  
磐田市市民活動センターのっぽ

## 令和5年度

# 第2回 いわたまちづくりワークショップ

## 報告

### 1 ワークショップの概要

まちづくりに対する幅広い世代の率直な意見や考えを聴ける場として、（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会と磐田市市民活動センターのっぽが主催となって、第2回いわたまちづくりワークショップを開催しました。

第2回は、磐田市の人財育成（市民ファシリテーター）について磐田市市民活動センターのっぽセンター長及び市民ファシリテーター養成講座受講生からの情報提供にはじまり、参加者には「市民の役割や市の役割について」話し合っていました。さらには、（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例の前文に入れたい言葉話し合っていました。最後はワークショップ参加者の中での合意形成（投票）を行いました。

開催日時：令和5年7月22日（土）13時30分～16時30分

開催会場：磐田市役所本庁舎4階大会議室

参加者：18名（うち男性12名・女性6名）

昨年度の参加者のうち本年度も参加を希望された方  
及び団体等からの推薦を受けた方

### 2 ワークショップの流れ

- 参加者を4グループ（1グループ5名）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（Musubi 代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 前回（第1回）の振り返り
- 磐田市市民活動センターのっぽセンター長及び市民ファシリテーター養成講座受講生からの情報提供「磐田市の人財育成」
- 学び「Musubi のこと」「仲間づくり～昔と変わったなと感じること～」「ワークショップのグラウンドルール」
- 対話「市民の役割、市の役割」
- 発表
- 対話「条例の前文に入れたいこと」
- 発表、投票、まとめ

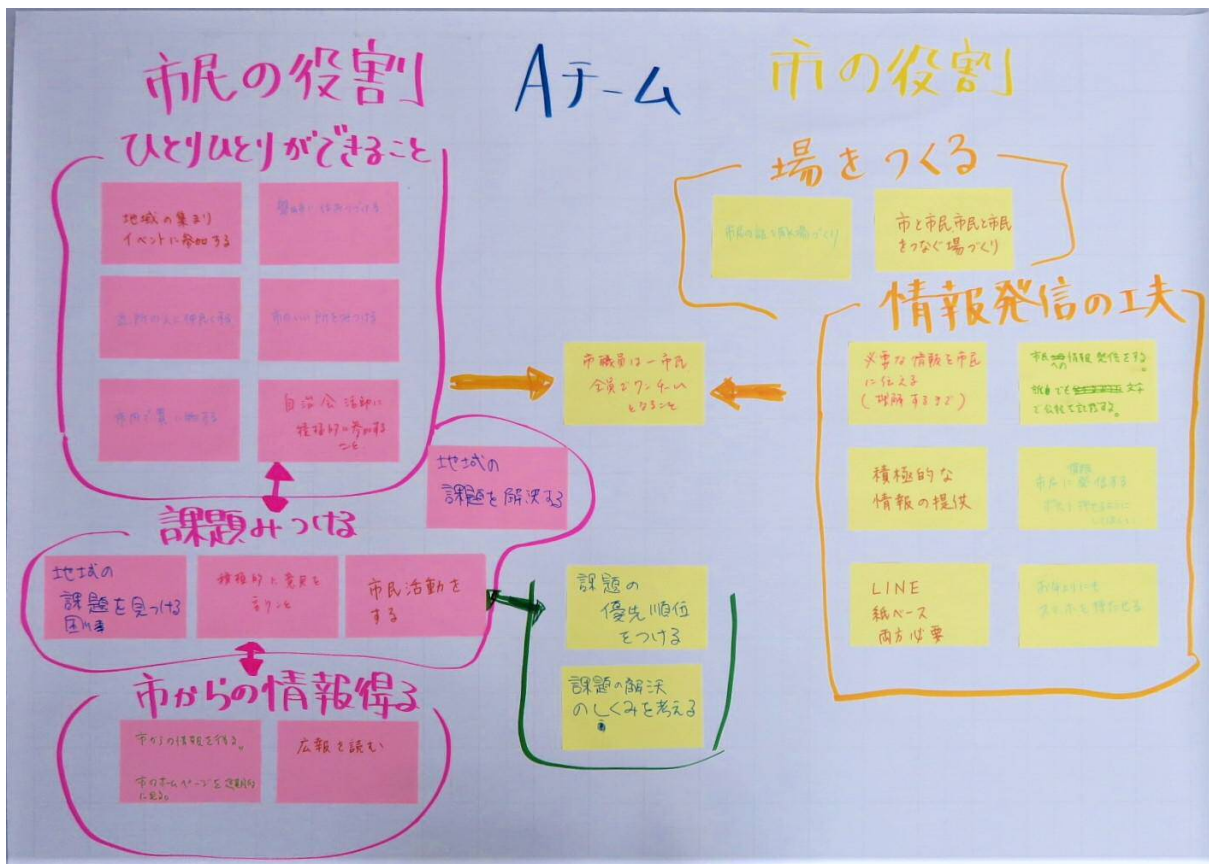
### 3 ワークショップの様子



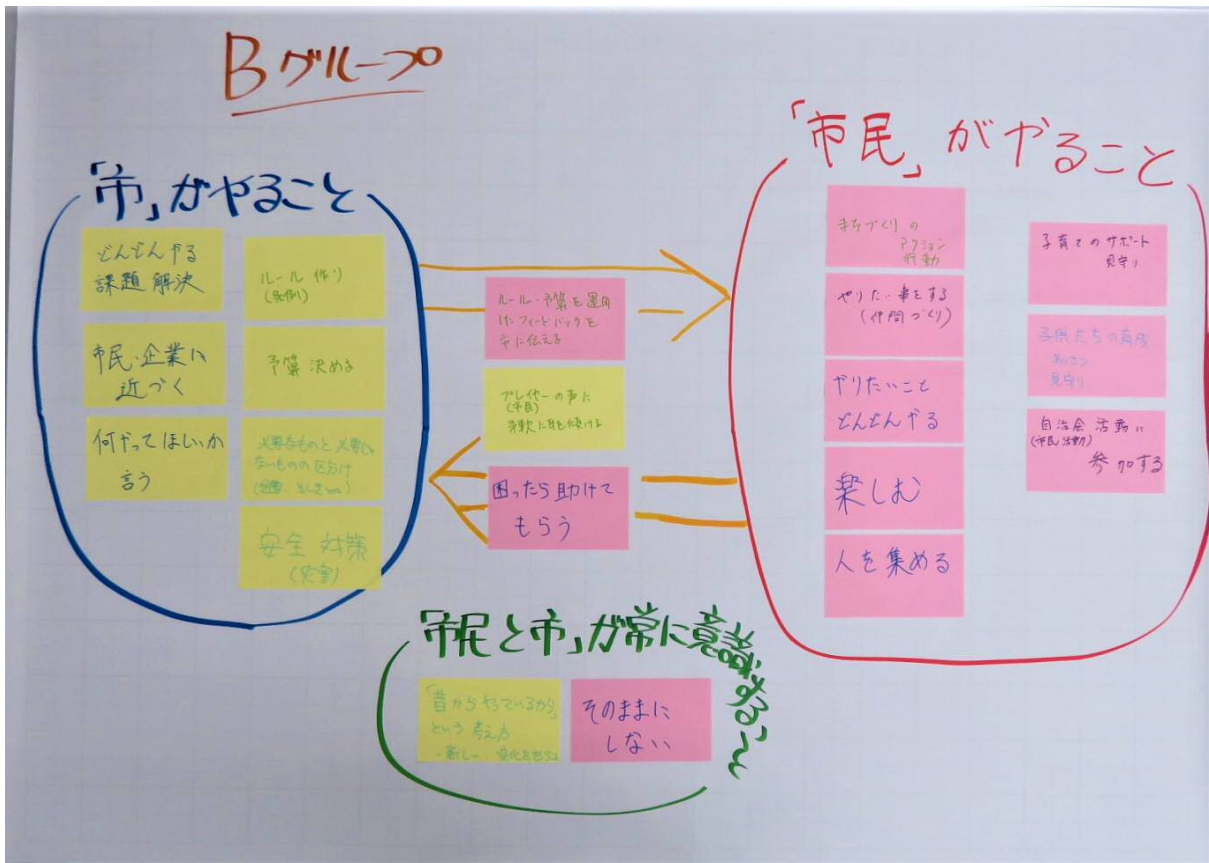


各グループの模造紙（市民の役割、市の役割）

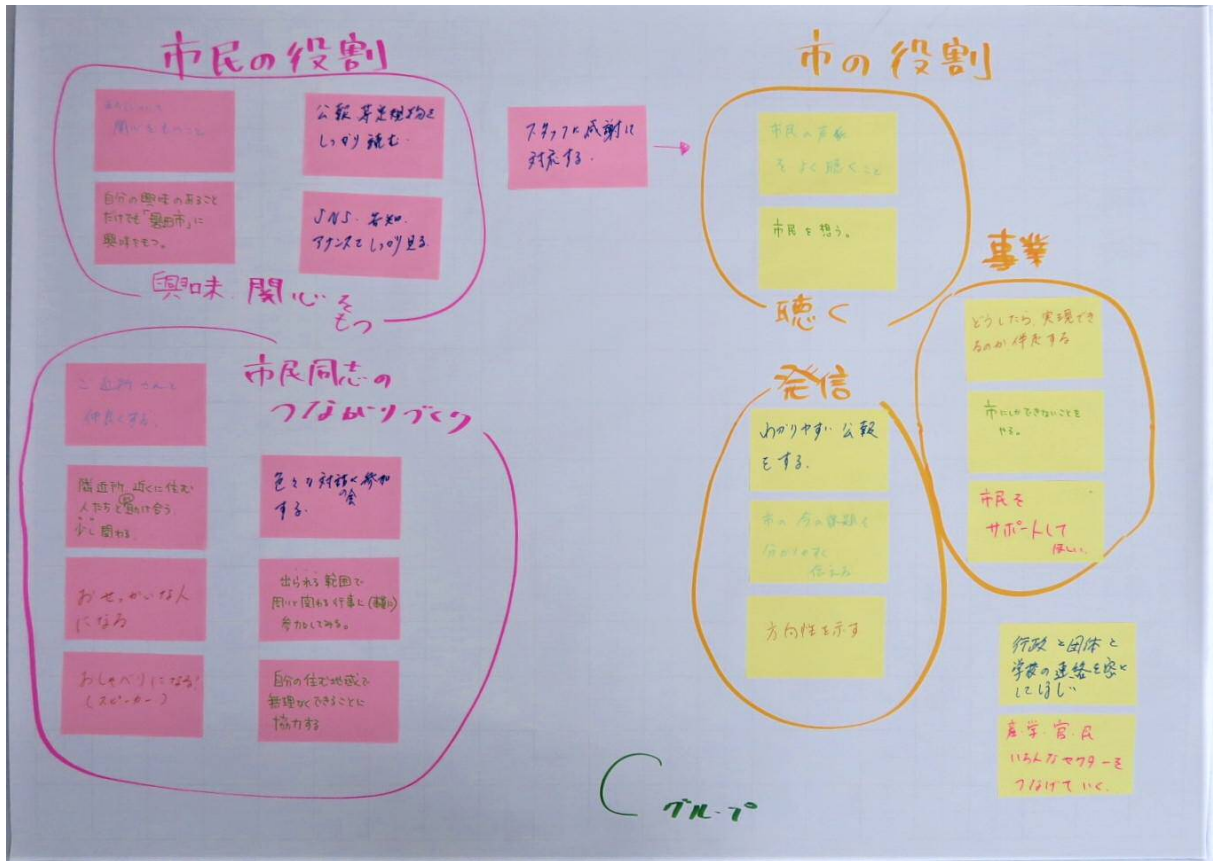
A



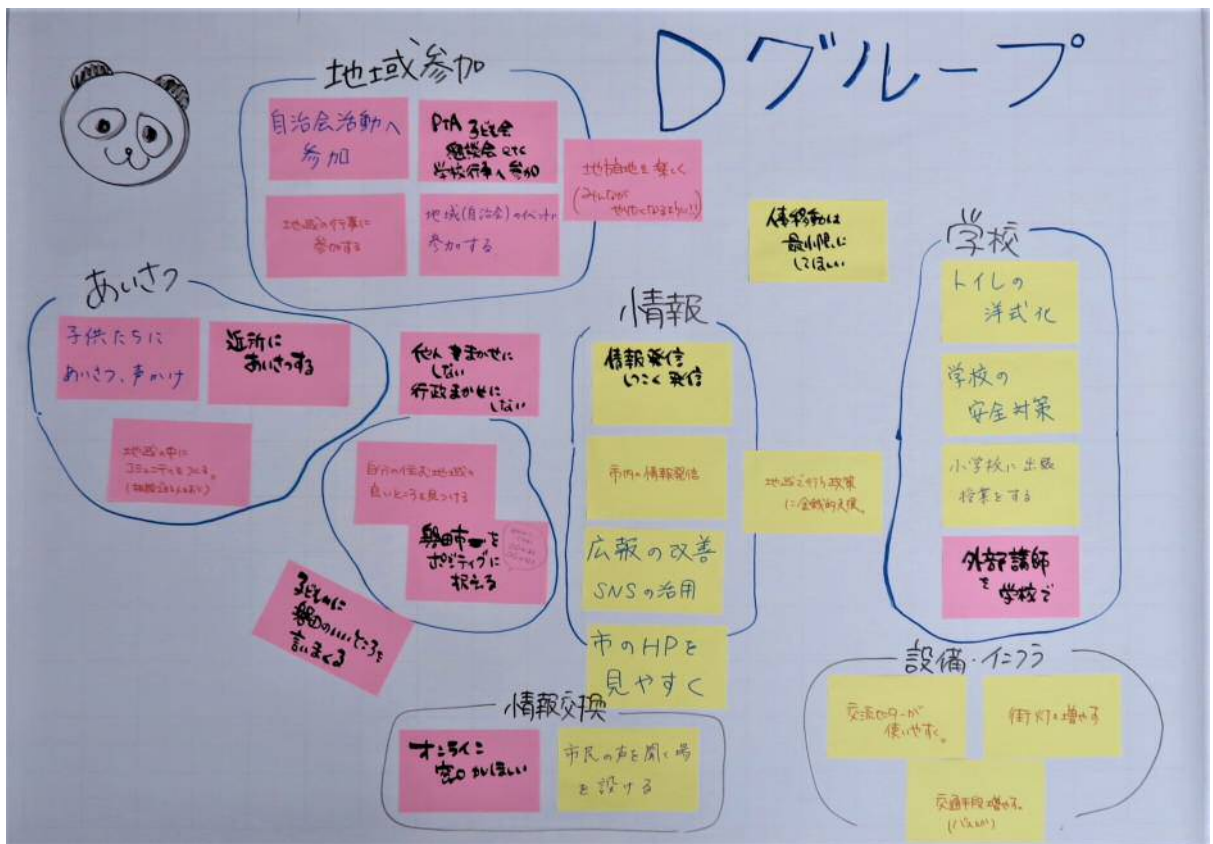
B



C



D



各グループの模造紙（条例の前文に入れたいこと）

A



B





各グループから選ばれた前文ワード

参加者は♡を1人2つ投票（但し、自分のグループの意見には投票不可）

A 歴史があり  
スポーツが盛んなまち

A 多様性を受け入れ  
持続可能なまち

A 桶ヶ谷沼をはじめとして  
自然の保全と  
産業の発展

①  
「生き生き」「楽しく」  
「つながる」磐田市

B タイムにしたい

②  
「自然」⇒遠州灘、川しかはな  
つじ公園  
「文化」⇒大名行列、裸祭り  
「歴史」⇒見附学校、緑十字校

③  
「重」なる「力」を  
かさ

B



①  
歴史・文化  
自然・スポーツ  
C

②  
守る・創る・  
つなげる  
C

③  
市民が主役😊  
C

④  
1人1人が  
主役になれる磐田  
D

⑤  
大橋の下で  
ヒトモ1人が  
まじわる磐田  
D

#### 4 今後について

第3回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時：令和5年9月2日（土）13時30分～16時30分

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ 2階ふれあい交流室

開催概要：「誰もが参加できる仕組みって何だろう？」

市民誰もがまちづくりに参加できる仕組みとは何かを考えていただき、ワークショップに参加された皆さんが条例づくりに少しでも関わったと感じられるような合意形成をしていく予定です。

事務局：磐田市自治デザイン課